

アステック、製販増強

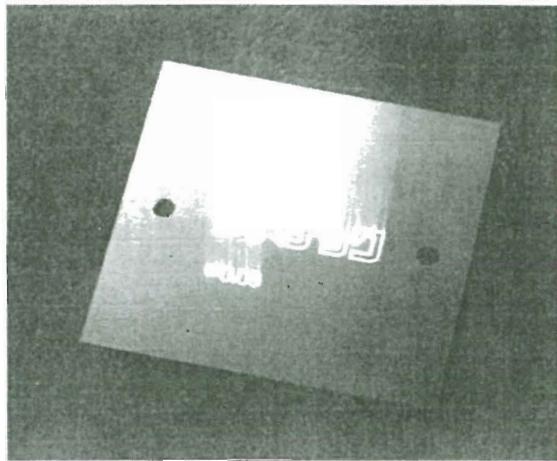
微細穴放電加工機 量産向け市場開拓

【立川】アステック（東京都八王子市、井上友義社長、042・651・9411）は、自動制御に対応した微細穴放電加工機の

製造販売体制を強化し、量産向け市場を開拓する。営業人員を増員し、代理店を増やす。年内にウェブサイトの刷新も計画する。

導体、航空機などの新市場に拡販する。これにより2023年6月期までに売上高を18年6月期比40%増の7億円を目指す。

「アステックは新市場向けとして、微細穴超高速コンピュータ数値制御（CNC）放電加工機「A34MP1C」を提案する。56μ（マイクロは100万分の1）10・2ミリの微細穴を、1穴2〜3秒で高速加工する。「試作レベルではなく量産化に対応した



主力の自動車業界向けのほか、医療機器や半導体、航空機などの新市場に拡販する。これにより2023年6月期までに売上高を18年6月期比40%増の7億円を目指す。

同社はこれまで自動車部品メーカーに、微細穴放電加工機を納品してきた。小径穴の量産や高難度の加工、量産のコスト削減など要求の高まりに応え、量産向け微細穴放電加工機を開発した。

過去に米国での航空機向けタービンブレードの加工実績を持つが、今後は代理店を通

じ米国や欧州の航空機関連の部品メーカーへの採用も目指す。

18.7.26

崎

田